

留 学 報 告 書

記入日:2018年12月26日

所属学部／研究科・学科／専攻	商学部商学科グローバルビジネスコース
留学先国	オーストラリア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: シドニー工科大学 現地言語: University of Technology Sydney
留学期間	2018年2月～2018年12月
留学した時の学年	4年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	4年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	ビジネス学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年12月6日
明治大学卒業予定年	2020年4月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:2 月中旬～6 月下旬 2 学期:7 月下旬～11 月上旬 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	45,930
創立年	1988

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	\$16,527	1,289,000 円	明治大学学費(留学先大学学費は 0)
宿舍費	\$14,161	1,104,454 円	
食費	\$12,821	約 1,000,000 円	月約 10 万円×10 ヲ月
図書費		円	
学用品費		円	
教養娯楽費	\$1,282	約 100,000 円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		円	形態:
渡航旅費	\$1,923	約 150,000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	\$46,444	約 3,643,454 円	

渡航関連

渡航経路: 成田ーシドニー

渡航費用

チケットの種類	格安航空券
往路	60,000
復路	59,840
合計	119,840

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

Expedia

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の宿舎

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 4 人、キッチン、シャワー、トイレは共有)

3)住居を探した方法:

大学のホームページ

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

場所は大学の近くで通いやすく、多くのイベントがある為友達を増やす場が多いことがメリットであるが、自分で探せばもう少し安いシェアハウスは見つけることはできる。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
利用した: 大学の病院は利用しなかった

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

現地の友達に相談した、交換留学生のための相談窓口有り

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

現地の友達といるようにすることで危険な地域などの情報を収集した、実際に被害はなかった

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮、大学どちらも wifi 環境は整っていたため、インターネット接続で困った経験は無い

5)現地での資金調達はどうに行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地に銀行を開設し、日本の親からその銀行へ送金してもらった、現地の銀行開設は簡単

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

日本の薬

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
就職活動を始めたばかりなので、まだ参考になっている資料などはありません
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
コンサルティング 業界
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
私は大学 4 年次に留学したので、就職は 1 年遅れてしまいます。ですが、その事に対する不安は無く、むしろ交換留学を使い留学できた経験は私のやりたい事を明確にする良い機会になりました
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
36 単位	<input checked="" type="checkbox"/> (申請中) 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
English for University Study	大学研究英語
科目設置学部・研究科	International Studies
履修期間	秋学期
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教授	Germana Eckert
授業内容	大学研究に必要な英語力をオーストラリアの文化的な内容を含めながら学ぶ
試験・課題など	課題: 基本的に毎授業で宿題あり 試験: 中間レポート、プレゼンテーション(個人)、期末レポート
感想を自由記入	全員クラスメートは交換留学生であり、オーストラリアの文化の知識を高めながらアカデミックな英語を学べる。そのため、外国の大学で初めて勉強する私にとっては為になる授業であった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Global Operations and Supply Chain Management		物流管理論(サプライチェーンマネジメント)	
科目設置学部・研究科	Business		
履修期間	秋学期		
単位数	6		
本学での単位認定状況	(単位認定申請中)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	チュートリアル、講義 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間にチュートリアル、講義 各 90 分が 1 回		
担当教授	Dr Sanjoy Paul		
授業内容	多国籍企業を中心として人、物を複数の企業間でどのように効率的にマネジメントするかを学ぶ		
試験・課題など	課題: 授業の予習 試験: オンラインテスト、プロジェクトレポート、プレゼンテーション(グループ)、期末試験		
感想を自由記入	サプライチェーンに関する知識をケーススタディを中心に学ぶことができる為、グローバルビジネス専攻である私にとっては非常に興味深い授業であった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Marketing Foundations		マーケティング論	
科目設置学部・研究科	Business		
履修期間	秋学期		
単位数	6		
本学での単位認定状況	(単位認定申請中)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	チュートリアル、講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間にチュートリアル、講義 各 90 分が 1 回		
担当教授	Dr Geetanjali Saluja		
授業内容	マーケティングの基礎から応用までマーケティングに関すること全般を学ぶ		
試験・課題など	課題: 授業の予習 試験: クイズ、マーケティング分析(グループレポート、プレゼンテーション)、期末試験		
感想を自由記入	全体的にチュートリアルでは全員に発言が求められた。グループレポートは新規製品の企画であり、グループメイトとのミーティングにかなり時間が割かれたが、マーケティングについて深く学ぶことができた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Academic English		アカデミック英語	
科目設置学部・研究科	International Studies		
履修期間	春学期		
単位数	6		
本学での単位認定状況	(単位認定中)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回		
担当教授	Germana Eckert		
授業内容	アカデミックな英語を読み書きだけでなく、オーラルアカデミックスキルも含めて学ぶ		
試験・課題など	課題: 基本的に毎授業で宿題あり 試験: 中間レポート、プレゼンテーション、期末レポート		
感想を自由記入	教授が生徒に感想を求める機会が多く、授業内容のように、読み書きだけでなく、オーラルアカデミックスキルについても学ぶことができた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Business Statistics		統計学	
科目設置学部・研究科	Business		
履修期間	春学期		
単位数	6		
本学での単位認定状況	(単位認定申請中) 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	チュートリアル、講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間にチュートリアル、講義 各 90 分が 1 回		
担当教授	Paul Burke		
授業内容	統計学の基本知識を前半は学び、後半はその基本知識からビジネスで意思決定する為に必要な分析ツールについて		
試験・課題など	課題: 授業の予習 試験: レポート(グループ)、中間テスト、期末テスト		
感想を自由記入	統計学は苦手分野であり予備知識があまりなかったため、授業の中で理解できない箇所が多々あった。しかし、チューターがいつでも質問に丁寧に答えてくれたため、良い成績を取ることができた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Transnational Management		国際経営論	
科目設置学部・研究科	Business		
履修期間	春学期		
単位数	6		
本学での単位認定状況	(単位認定申請中) 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	チュートリアル、講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間にチュートリアル、講義 各 90 分が 1 回		
担当教授	Lecturer Helena Li		
授業内容	国を超えてビジネスする多国籍企業をどのようにマネジメントするか、社会的、経済的、政治的視点など色々な視点から学ぶ		
試験・課題など	課題: 授業の予習 試験: レポート、期末試験		
感想を自由記入	レポートを含め、授業で扱う資料はケーススタディが多く、非常に興味深かった。特に、授業の中で日本の働き方について扱う授業があり、海外から見た日本の働き方に対する意見を聞くことができた。留学の目標であった海外からのビジネスの視点を学ぶことをこの授業を通して達成できた。		



留学に関するタイムチャート

2017年 1月～3月	IELTS 学習
4月～7月	IELTS 学習、受験
8月～9月	
10月～12月	留学準備
2018年 1月～3月	2月 出発
4月～7月	6月期末試験
8月～9月	
10月～12月	10月、11月期末試験
2019年 1月～3月	就職活動開始
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

<p>留学しようと決めた理由</p>	<p>高校時代に大怪我をしたことで、高校までやっていたサッカーを続けることが難しいと分かった際に、大学に進学する上での目標を考え直す機会がありました。そこで海外サッカーに興味を持っていた私は、留学するという目標を立てたのが留学を考え始めたきっかけです。その後、商学部でグローバルビジネスコースを専攻し、多国籍企業などのビジネスモデルを深く専攻として学んでいくうちに、海外のビジネスに関する考え方に興味を持ち留学をしようと決めました。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>やはり語学力は留学する上で必要不可欠なので、留学する前にできるだけ向上させるに越したことはないと思います。特に、多くの授業でチュートリアルと呼ばれるゼミのような小さいクラスでは授業中に発言することが求められます。最低限教授が何を言っているか理解しなければ、意見を持っていたとしても発言できなので、リスニングスキルは特に大事だと思いました。リーディングやライティングに関しては、辞書を使うなどをして時間をかけることのできる場面が多いので、そんなに気にする必要はないと感じました。</p>
<p>この留学先を選んだ理由</p>	<p>就職活動のスケジュールのことも考え、2月から留学を始め、12月に終わることが出来る留学先を考えていた上で、英語圏の大学で勉強したかった私の選択肢はオーストラリアだけでした。加えて、ビジネスの盛んな大都市にあり、ビジネス学部がある大学に留学を希望していました。その条件を他の協定校とも照れし合わせた上でシドニー工科大学はシドニーの中心地にあり、ビジネスも学べる環境であったのでシドニー工科大学を留学先として選びました。</p>
<p>大学・学生の雰囲気</p>	<p>大学がシドニーの中心地であるセントラルにあるため、ビルが転々としており大学に大きなキャンパスはありません。そのため、学生同士で校内でゆっくり出来る場所などが多いわけではありませんが、校内には勉強できるスペースが多くあり勉強するには最高の環境が整っています。学生の雰囲気としては、勉強と遊びのメリハリがしっかりとれています。週末は、パーティーなどを楽しみ、それ以外はしっかりと勉強している学生が多かったと思います。</p>
<p>寮の雰囲気</p>	<p>私は二番目に大きい大学の寮に住んでいました。基本的にイベントが一番大きい寮で行われるので、留学当初は同じ寮内の友達とはあまり交流がありませんでした。しかし、時間が経つにつれてフラットメイトの友達など通じて多くの学生と交流することができました。シドニー工科大学の寮には私のような交換留学生だけでなく、オーストラリアの学生もいるのでローカルの友達を作るのにも最適な場所でした。</p>
<p>交友関係</p>	<p>語学力に不安はあったものの、積極的にコミュニケーションを取ることで留学初日からフラットメイトと良い関係を築くことができたため、交友関係にあまり困ったことはありませんでした。初めの1,2ヶ月はフラットメイトなど交換留学生と多く遊んでいましたが、大学のサッカークラブに入ってからチームメイトと週末は一緒に過ごしていました。チームメイトとはサッカーというスポーツを通じてより深い関係になることができ、親友と呼ぶことのできる友達を作ることができました。</p>
<p>困ったこと、大変だったこと</p>	<p>やはりフラットメイトとの共同生活が大変でした。前期は一人のフラットメイトとうまく行かず、ストレスになることが多々ありました。特に、私は4人部屋に住んでいて、部屋がリビングの横だったのでフラットメイトが夜までパーティーなどをするとうるさくて寝れません。何度も直接言っても辞めない、最終的には他のフラットメイトと相談し明確なルールを決めることで解決しました。他にも、フラットメイトが毎日のように友達を呼ぶことで共有しているトイレペーパーなどがすぐに無くなるなど共同生活については大変なことが多々ありました。</p>
<p>学習内容・勉強について</p>	<p>私はビジネスを専攻していました。講義形式であるレクチャーでは日本の大学の講義と同じですが、チュートリアルでは生徒同士の意見交換が求められます。特にビジネスではケーススタディが中心となりそのケースについて意見を求められるので、日本企業を例として扱っている場合はよく質問されました。また、ビジネスの授業では基本的にグループプレゼンやグループレポートなどグループプロジェクトが必ずと言っていい程ありました。</p>

課題・試験について	オーストラリアの大学の成績のつけ方として、アサインメントが 3 つあり総合的に成績がつけられます。2つはレポートやプレゼンテーションで最後に期末試験があります。なので、継続的に勉強することが求められ、レポートやプレゼンテーションなどの期末試験以外で点数を稼ぐことができれば期末試験の負担が減ります。期末試験については半期で授業が完結するので密度は非常に濃く、試験も 2 時間あるののでしっかりと授業で扱った全ての内容を理解するまで勉強する必要があります。
大学外の活動について	大学のサッカークラブに所属していました。過去に怪我をしていたこともあり、サッカーをやるつもりはありませんでしたが、フラットメイトにじっくり誘われトライアルに参加したことでサッカー部に所属することになりました。今となっては、サッカーを通じて多くの仲間を作ることができたので、私を強引に誘ってくれたフラットメイトには感謝しています。シドニー工科大学のサッカー部は多くのチームがあり、レベルによってチーム分けされているので楽しみながらサッカーをすることができます。
留学を志す人へ	諦めずに努力し続ければ何事も達成できます。もし、少しでも留学に興味があるのであれば挑戦することをお勧めします。もちろん、留学することが正解でもなんでもありませんが、確実に留学した人しか感じることのできない景色があります。特にそれを達成するまでの道のりが厳しければ厳しい程、その景色は美しくなります。是非、留学を考えている方は諦めずに最後までやり切ることで結果を残して欲しいと思います。心から応援しています。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業		授業				
	授業		授業			クラブ活動	
午後	自習	自習	授業	自習	自習	クラブ活動	
	ジム		授業	自習	自習	クラブ活動	
夕刻		クラブ活動	授業	ジム		クラブ活動	
夜	交流会	友人とご飯	授業			友人とご飯	

